

共謀罪廃案に 声明ぞくぞく

「共謀罪」法案の廃案などを求め、複数の市民団体が10日まで、批判の声を上げています。

■市民団体

全国青年司法書士協議会は意見書で、「思想良心の自由」などを侵害するおそれがある」と批判。障害者・患者9条の会は「差別や偏見に対する怒りを仲間と共感しあう自由」を脅かすと指摘しています。

キリスト者有志は、プライバシーの侵害な

どに危ぐを表明しています。

■学術文化団体

世界平和アピール七人委員会は「民主主義を殺そうとしている」と批判。日本美術会は「物言えぬ監視社会に変えよう」としている」と述べています。

文化団体連絡会議は「文化の創造性と自主性を守る」ために廃案

を強く求める決議を採択。歴史学研究会は、

このほど開いた総会で法案に反対する決議を採択しました。

■弁護士・学者

企業法務を主に取り扱う弁護士や経済学者の有志らは「共謀罪」法案の審議を停止し、森友学園や加計学園の疑惑の徹底究明を求める声明を発表しました。